

## 下水道用ダクティル鑄鉄管

下水道に使用するダクティル鉄管の主な規格には、次のようなものがあります。

### ■規格の種類

#### 【開削、トンネル内配管用】

規格番号	規格名称	接合形式	呼び径
JSWAS G-1	下水道用ダクティル鑄鉄管	K形	75~2600
		U形	800~2600
		T形	75~2000
		UF形	800~2600
		S形	1100~2600
		US形	800~2600
		フランジ形	75~2600
		NS形	75~1000
		GX形	75~ 450 <sup>1)</sup>

1) GX形 呼び径350および450はJSWAS G-1類似品認定

#### 【推進工法用】

規格番号	規格名称	接合形式	呼び径
JSWAS G-2	下水道推進工法用ダクティル鑄鉄管	T形	250~ 700
		U形	800~2600
		US形	800~2600

備考 1. フランジ形は、異形管のみです。  
2. 上表のほかに、JIS(日本産業規格)があります。

ダクティル鉄管は、使用条件や用途に応じた最適な管厚を選定できるように、下記に示すような管種を規格化しています。

### ■管の種類と記号

種類	記号	JSWAS G-1	JSWAS G-2
1種管	D1	○	○
2種管	D2	○	○
3種管	D3	○	○
4種管	D4	○	○
5種管	D5	○	○
PF種管	DPF	○	○
S種管	DS	○	—

参考 JSWAS G-1:公益社団法人日本下水道協会規格「下水道用ダクティル鑄鉄管(呼び径75~2600)」  
JSWAS G-2:公益社団法人日本下水道協会規格「下水道推進工法用ダクティル鑄鉄管(呼び径250~2600)」

## ■管種と適用呼び径

呼び径	管 種 (記 号)							
	D1	D2	D3	D4	D5	DPF	DS	
75								
↳								
250								
300								
350								
400								
450								
500								
600								
700								
800								
900								
1000								
1100								
1200								
1350								
1500								
1600								
↳								
2600								

※GX形 呼び径350および450はJSWAS G-1 類似品認定

## 下水道用ダクトイル鋳鉄管 外面特殊塗装

### (1)一般の埋設管路

特に指定がない場合は、エポキシ樹脂、アクリル樹脂などの合成樹脂塗料を塗装します。ただし、腐食性土壌にはさらにポリエチレンスリーブが必要です。

### (2)特殊な使用条件

露出配管、水中配管、湿度の高い所の配管など特殊な条件の場合は、次の外面特殊塗装の中から選定します。

## ■工場塗装および現地塗装

種類	工場 塗 装			現 地 塗 装(参考)		
	1次塗装	2次塗装	3次塗装	用途	現地塗装適合塗料	備考
AA <sup>a)</sup>	亜鉛溶射又はジンクリッチペイント <sup>b)</sup>	管に通常用いる塗料 塗膜の厚さ 0.08mm	—	主として露出配管に用いる。	管に通常用いる塗料	黒色とし、その他の色は指定できない。
BB	亜鉛溶射又はジンクリッチペイント ただし、	現地塗装のアクリルNAD系艶有塗料に適した管に通常用いる塗料 塗膜の厚さ 0.08mm			アクリルNAD系艶有塗料	色の指定ができ、歩道橋や建築関係で通常用いられている。塗料は市販性がよく、入手しやすい。
CC	JDPA G1049のGX形管は亜鉛系合金溶射でもよい <sup>b)</sup>	エポキシ樹脂塗料 塗膜の厚さ 0.05mm			エポキシM.L.O塗料又はエポキシ樹脂塗料 塗膜の厚さ 0.05mm	ポリウレタン樹脂塗料
DD				水中配管及び湿度の高い所の露出配管に用いる。	エポキシ樹脂塗料	色の指定ができ、水中や湿度の高い腐食性環境で使用される。

注 a) 種類AAには、JDPA G 1049のGX形管は適用しない。

b) 1次塗装の塗布量は、亜鉛溶射又は亜鉛系合金溶射の場合は130g/m<sup>2</sup>以上、ジンクリッチペイントの場合は150g/m<sup>2</sup>以上を基準とし、塗膜厚さは0.02mmとして積算する。

なお、亜鉛系合金溶射の場合は、封孔処理を行ってもよい。